

理学療法かわら版

一般社団法人

山形県理学療法士会

目次	会 長 就任あいさつ	1	活動報告	5
	副 会 長 就任あいさつ	1	新生涯学習制度のお知らせ	7
	新任理事 就任あいさつ	2	事業カレンダー	9
	役員紹介	4	編集後記	10
	日本理学療法士協会賞受賞報告	5		



山形県理学療法士会 会長
山形県立中央病院

岩井 章 洋

会員の皆様には、日頃より本会の活動に対しご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。この度、2021年度定期総会にて新役員をご承認いただきました。今後2年間引き続き会長を務め、新役員体制の下一丸となり本会事業を進めてまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症が日本で発生してから1年6か月余りになりますが、いまだ収束の気配はありません。まだまだ気の抜けない状況ではありますが、医療・介護・福祉等の現場で勤務し、患者・利用者の健康と安全を守りながら理学療法を提供している会員の皆さまには改めて心から敬意を表します。

昨年度については、年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響で活動が鈍くなってしまう、会員の皆さんにはご心配やご迷惑をお掛けしました。

さて、現代社会においては、多様な領域で活躍できる理学療法士に期待が感じられますが、その分厳しい目も向けられております。その期待に応えるためにも、会員個人として、団体として切磋琢磨し成長していかなければなりません。理学療法士を取り巻く現状を真摯に受け止め、会員の皆様と一緒に学び、おたがいに高めあい、同じ方向を向いて、一人一人が活躍できる組織を目指します。

本会は、会員の皆様の資質並びに専門性の向上を図る目的で事業を計画し実施しております。皆様の学術的な活動、教育的な活動、職能的な活動、地域での連携活動、対外的な活動などを支援する目的で考え、支部での症例検討会や専門領域推進部における勉強会や研修会を通して臨床力を高め、理学療法士としての本来の力をつけていただくことを大事にしています。今年度も、計画している事業を滞りなく実施していくことが、会員と本会の皆様の発展につながると考えています。

今後とも本会活動への積極的参加により、知識・技術・情報の交換や共有を行い、理学療法の専門性を高め、山形県の保健・医療・介護・福祉に貢献できる団体として発展できるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後も感染予防に努め、会員皆様の健康に留意し、本会の活動が停滞することのないよう努めてまいります。

新型コロナワクチンの接種が進み、感染が収束し、皆様が安心して過ごせる日が来ることを祈念しております。



副会長
事務局長 白書委員会担当
山形済生病院

鈴木 健 太

令和3年度より副会長兼事務局長、地域包括ケアシステム推進対策本部、白書委員会の担当理事を拝命いたしました鈴木健太です。これまで社会局担当理事として2期4年務めさせていただきました。今年度からは副会長という重責と、事務局長として新たな部局での責務を全うしたいと考えております。

理学療法士の職域は、医療、介護、予防、福祉など幅広い分野にわたり、当会においても様々な事業を行ってきました。昨年より新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの会議、研修会、イベントなどが増え、対面での活動が大きく制限されました。これまでオンラインでの活動が少なく慣れることに時間がかかりましたが、オンラインの利点と欠点も知ることができたと考えます。対面ですべての活動を行うにはもう少し時間がかかりそうですが、今できることを、今できる方法で、会員の皆様とともに着実に進めたいと思います。よろしくお願いいたします。



副会長
職能局長 置賜支部長 倫理委員会担当
介護老人保健施設美の里

井 上 由 香

今期より、前期までの置賜支部長に加え、副会長兼職能局長、倫理委員会、地域包括ケアシステム推進対策本部の理事を拝命いたしました井上由香です。昨年度まで置賜支部で症例検討を中心に、会員相互の顔の見える活動をして参りました。

しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染により、思うように活動できませんでした。新しい生活様式となり、それに対応できるように模索して参りましたが、当会活動が停滞したことを否めません。コロナ禍でも活動できる柔軟な体制作りが急務となっています。

この度多くの理事が交代したことで、副会長という重責を担うこととなり、身の締まる思いではありますが、理学療法士の置かれている状況は、大きく変化し様々な難題があります。会員の皆様と一緒に、会員のための当会の発展と、山形県の医療介護福祉保健への貢献のために努めて参ります。どうかよろしく願いいたします。



学術局・教育局担当理事
(専門領域推進部)
公立置賜南陽病院

阿 部 亘 行

今年度より理事を拝命致しました阿部です。専門領域推進部は2015年に新たに発足し、現在9領域で活動しております。昨年度までは神経理学療法領域の部員リーダーとして、多くの事を学ばせていただき、現状と課題を認識することができました。この経験を糧に、理事としての責務を果たせるよう尽力したいと思っております。会員ファーストで、魅力的な勉強会と研修会を企画・開催することで登録会員数が増え、各領域の基盤構築に繋がっていただければと思っております。

当県の認定・専門理学療法士の取得率は全国的に低い状況にありますが、認定・専門の取得者及び取得予定者の双方にとって有益な情報提供に努め、スペシャリスト集団としての質の向上にも寄与できると考えております。会員数1,000人を超えた学術集団としては、どのような状況下であっても、「Don't Stop Learning」の精神で、会員の皆様と共に前進して行かなければなりません。ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。



事務局担当理事
(組織部、ニュース編集部)
国立病院機構山形病院

石 川 慎 一 郎

新任理事の石川です。自分の中では理事と言えば、各職場の職場長レベルで偉い人がいっぱいいるイメージでしたが、実際には自分と同年代や若い方も多く意外な感じがしています。さて、この度担当することになりました組織部とニュース編集部は初めて関わる分野となります。それぞれの業務、役割を勉強しながら、会員の皆様にとって意味のあるものとなるよう、より発展させられればと思います。

私はこれまで生涯学習部、専門領域推進部（難病領域）、広報部の部員として活動してきました。しかしその一方で活動に関わっていない会員が多いとも感じていました。そのため改めて当会の存在意義や会員でいることのメリットが会員の皆様に伝わる、感じてもらえるような会にしていく必要性も感じています。新型コロナ感染症が収束しない中、以前のような活動はまだできませんが、できることを模索しながら前に進む必要があります。微力ながら、会員のため、また県民の皆様の健康に貢献できるよう努力していきます。よろしく願いいたします！



職能局担当理事(医療保険部)
天童市民病院

中 川 悠 介

この度、医療保険部理事を拝命いたしました、天童市民病院の中川悠介と申します。就任前は生涯学習部所属であったため畑違いの分野となりますが、病院勤務の経験を活かし、部長はじめ部員の皆さんと協力し取り組んでいきたいと考えております。わかりやすい情報発信に努め、会員の皆さんへ還元できるような活動となるよう心掛けていきます。よろしく願いいたします。



職能局担当理事
(介護保険部)
老人介護保険施設のぞみの園

田 中 秀 典

この度、職能局介護保険部の理事を拝命いたしました老人保健施設のぞみの園の田中秀典と申します。

これまで、教育部の部員、部長として活動し、皆様にもご協力をいただきながら教育や育成のサポートに携わらせていただきました。

さて、今年度も介護報酬改定が行われました。前回改定からの継続事項に加え、感染症や災害への対応力強化が新たに示され、介護保険領域が担う役割と重要性がより一層増してきております。

科学的根拠のある良質なサービス提供もこれまで以上に求められ、各々が専門性を高めると共に、多くの職種や事業所、ご家族や地域で知恵を出し合い、総合的な支援を体現していく必要があります。私たち理学療法士が何をもって良質と定義するかを再考、体現しながら職種としての有用性を示していく事も必要です。

会員の皆様、当会の発展に寄与するべく尽力いたす所存でございますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



職能局担当理事（業務推進部）
在宅リハビリ看護ステーション
つばさ天童サテライト

芦 埜 達 哉

この度、業務推進部の理事を拝命しました芦埜達哉と申します。いきなりですが、みなさんは家族や職場以外の人とどれくらい話をする機会があるでしょうか？私は訪問業務に携わっておりますが、利用者さんとそのご家族をはじめ、関係する多くの他事業所スタッフ、さらには近所の方々や行政担当者、よく利用するコンビニの店員など、挙げればキリがありません。日々感じていることは、対象や領域によって求められる話し方や伝える手段が異なるということです。また、対象者は何をする人か？相手が求める自分の役割は何か？必要な知識や技術は？…といつも考えさせられることばかりです。

さて、業務推進部は地域リハ連携委員会・訪問リハ推進委員会・福祉領域推進委員会の3つの部門から構成されており、いずれも連携促進やネットワーク拡大、領域内の情報共有に向けた活動を目指しています。微力ではありますが、困った時に気軽に相談し合えるような体制を皆さんと一緒に築いていけるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



支部局担当理事（庄内支部長）
日本海酒田リハビリテーション
病院

五十嵐 めぐみ

今年度より庄内支部の担当理事になりました五十嵐めぐみです。

今までほとんど会の仕事に携わることなく過ごしてまいりましたが、子育てが少し落ち着いたこともあり、この度理事をさせていただくことになりました。

ここ数年、社会全体が大きく変わり、理学療法士を取り巻く環境も大きく様変わりしました。時代の波に取り残されぬように先を見据えて行動する必要があることを臨床や様々な場面で感じています。

新しい情報を伝達し波及させながら、会員だけでなく若い世代にも魅力ある当会活動になるよう働きかけていきたいと思っています。

またリハビリテーションの専門職として、いかに地域に貢献できるかを常に考えて行動したいと思っています。

微力ながら当会活動に貢献できるよう努めていきますので、よろしくお願いします。





医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器流通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail: somu@took.co.jp

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

医学書のことならお任せください

日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com

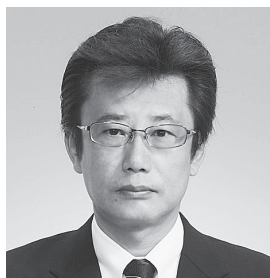
山形県理学療法士会 役員紹介

会 長	山形県立中央病院	岩 井 章 洋
副 会 長（兼事務局長）	山形済生病院	鈴 木 健 太
副 会 長（兼職能局長）	介護老人保健施設美の里	井 上 由 香
学術局長	北村山公立病院	大 原 隆 洋
教育局長	吉岡病院	早 坂 恵美子
社会局長	山形県立河北病院	丹 野 則 子
支部局長	山形医療技術専門学校	長 沼 誠
学術局担当理事	山形大学医学部附属病院	大 森 允
学術局・教育局担当理事	山形徳洲会病院	山 本 洋 介
学術局・教育局担当理事	公立置賜南陽病院	阿 部 宣 行
教育局担当理事	山形医療技術専門学校	荒 井 正 志
事務局担当理事	国立病院機構山形病院	石 川 慎一郎
職能局担当理事	天童市民病院	中 川 悠 介
職能局担当理事	老人保健施設のぞみの園	田 中 秀 典
職能局担当理事	在宅リハビリ看護ステーションつばさ天童サテライト	芦 埜 達 哉
社会局担当理事	いちまる訪問看護ステーション	早 坂 慎 也
支部局担当理事	最上町立最上病院	多 田 雄 一
支部局担当理事	日本海酒田リハビリテーション病院	五十嵐 めぐみ
監 事	自宅	岩 田 好 子
監 事	山形医療技術専門学校	杉 原 敏 道



2021年度定期総会の様子 2021年6月26日共同組合山形流通団地組合会館中央会議室にて

第38回日本理学療法士協会賞を受賞して



山形県理学療法士会 前会長
山形県立保健医療大学

高橋 俊 章

昨年、第38回日本理学療法士協会賞を受賞しました。このような輝かしい賞をいただき、大変光栄に思います。ご推薦いただいた山形県理学療法士会の岩井会長はじめ皆様方からお礼申し上げます。

この度の受賞は、26年に及ぶ役員活動を賞していただいたものと思います。しかし、この栄誉はけっして私だけの成果ではありません。これまで私を指導し育てていただいた先輩の皆様と、ともに理学療法士会の活動を支えていただいた皆様のお蔭であると深く感じています。

理事時代のことを今でも思い出します。様々な課題に直面した時に、貴重な時間をさいて仲間が集まり時間を忘れて議論し、深夜に及ぶ勉強会や作業を行うこともありました。業界の発展と会員の利益について、皆で真剣に考えていたことが懐かしく思い出されます。

このようなことがあったから、私はこれまで会の活動を続けられたと思いますし、協会賞の受賞に繋がったものと思います。この場を借りて、ともに活動していただいた皆様に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございました。



現在も理学療法士を取り巻く社会は変化を続けており、理学療法士の将来が危惧される大変な時代です。この時期にこそ会が一丸となって一人一人の活動力を高め、県民の皆様に貢献していくことが大事です。山形県理学療法士会の発展と会員皆様のご活躍をお祈りし、受賞の報告といたします。

● ● ● ● 庄内支部活動報告 ● ● ● ●

～令和3年度 第1回庄内支部勉強会 テーマ「フレイルと低栄養」～

庄内支部長 五十嵐 めぐみ

日 時：令和3年7月27日 19時～20時半

開催形式：ZOOMによるWEB配信

「フレイルと低栄養」をテーマに第1回庄内支部勉強会を開催しました。日本海酒田リハビリテーション病院の栗田宜享先生、協立リハビリテーション病院の渡辺智也先生からは情報提供をして頂き、38名の参加となりました。

栗田先生からは今回のテーマを基に「フレイルと低栄養」と題して提示していただきました。フレイルとはどういう状況なのかそこに至るまでの過程はどうなっているのか。フレイルと栄養がどうつながり、理学療法士としてどうかかわっていけばいいのかまで分かりやすく詳しく教えていただきました。

渡辺先生からは「地域で最後まで食べ続けるためには～南庄内食べるを支援したいの活動～」と題して、ご自身が参加している在宅NSTの取り組みについて提示していただきました。南庄内独自の取り組みで、病院から在宅へ切れ目なく「たべる」を支援するため医療・介護サービスなどが連携して、在宅NST「南庄内食べるを支援したい」を立ち上げ、対象者のアセスメント、カンファレンス、ケア計画の作成、現地指導、ケース検討会議などを行っているとのことでした。

今回は、庄内支部では初めてのWEB開催となりました。段取りなど大変なところはありませんでしたが、無事勉強会を開催出来て良かったと思っています。質疑応答は勉強会申し込み時に事前に募集するなど工夫もしました。グループディスカッションはできませんでしたが、有意義な時間を過ごすことが出来たと思っています。今後も状況に合わせて勉強会を企画していきたいと思っています。情報提供してくださった先生方、参加していただきました先生方ありがとうございました。

なお、庄内支部では11月末から12月に、一症例検討会も開催予定になっております。詳細は順次お伝えします。多数の参加をお待ちしております。

● ● ● ● 公益事業推進部活動報告 ● ● ● ●

～理学療法士の日に行っている「全国一斉イベント」について～

職能局担当理事（公益事業推進部） 早坂慎也

「全国一斉イベント」とは地域包括ケアシステム完成に向けて、私たち理学療法士が介護予防事業の主体的存在となるためには、国民・行政から「介護予防＝理学療法士」として十分に認知される必要があります。その為、日本理学療法士協会としては2014年度より各都道府県理学療法士会の協力のもと、他の団体・専門職と一線を画して「すべての都道府県で“一斉”にイベントを行う」ことにより、マスコミの注目を集め国民・行政にアピールを行ってきました。山形県理学療法士会としても、これまで公益事業推進部が担当となり、温泉施設やショッピングモールでロコモティブシンドロームの評価や運動指導、進路紹介、健康相談ブースを設けての「理学療法士の啓発活動」を実施してきました。

しかしながら2020年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により中止の判断に至りました。2021年度も当初は日本理学療法士協会の決定のもと対面事業の開催に向けて準備を進めてきましたが、全国各地で新型コロナウイルス感染症の第3波、第4波が猛威を振るい対面事業の中止を決定しました。

2020年度は事業の完全中止を余儀なくされましたが、これまでの活動を停滞させないためにも、2021年度はこれまでの対面事業に代わる事業を検討し、山形県理学療法士会ホームページに理学療法士の日の案内文章を掲載しました。(右記のポスターをご覧ください)

公益事業推進部の活動は対面事業が多く、昨今のコロナ禍において活動制限せざるを得ない部であることは事実です。しかしながら、今後も対面事業以外で発信する方法を検討し、先輩理学療法士の方々が築いてくださった活動を継続していきたいと考えております。

7月17日は理学療法の日

あいさつ
一般社団法人山形県理学療法士会 会長 岩井 雅洋

理学療法士は人の身体の動きを専門にする医療専門職として、1965年に誕生しました。翌年1966年7月17日に日本理学療法士協会が設立され、その日を「理学療法の日」と制定し、毎年全国各地で広報活動を展開しています。山形県理学療法士会は、1972年に県内の医療・介護・福祉の職場で働く理学療法士により設立されました。理学療法士は、けがや病気などで身体に障がいのある方へのリハビリテーションを基本としながら、高齢者の介護予防やフレイル予防、新型コロナウイルス感染症予防のための活動自粛による生活不活発者の予防、また働く世代の方の腰痛や肩こり予防など、広い分野で活動しています。これから会員一同、理学療法を通じ山形県の保健・医療・福祉の発展に貢献してまいります。何卒ご支援いただきますようお願い申し上げます。

理学療法士はみなさまの自立した日常生活が送れるよう支援する
医学的リハビリテーションの専門職です。

医療現場で働く理学療法士
病院や施設でチーム医療の一員として、患者様中心の医療の実現を目指します。理学療法士は主に身体機能や生活動作を担当し、調整役となって治療を進めます。

①急性期 ②回復期 ③維持期 ④終末期
各ステージにおいてリハビリテーションを提供しています。

災害と理学療法士
災害が発生した場合、避難所などで活動量の減少により、身体機能が低下するなどの問題が発生します。現場に赴いて体調管理や環境整備、助産などを行います。

地域包括ケアシステムの中での理学療法士
障がいや疾病等に起因した方に日常生活の問題を解消・軽減し、自立を促す運動方法の提案や、安心・安全に生活を送るための助産等を行います。

フレイルや生活不活発者の予防
加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能）が低下した方に対して動きやアドバイス、適切な運動方法を提案しています。

健康増進・生活習慣病予防
生活習慣病に対する運動指導や個々に適した就業環境を提案するなど、健康管理を通じて、疾病の有無を問わず多くの方を支援しています。

障がい児・若者の関わり
心身の状態、病気、事故の影響で何らかの困難や遅れがある場合、潜在的な能力を最大引き出し、心身機能の改善を図ります。健やかな成長を支援していきます。

スポーツと理学療法
けがや病気で休養していた選手の競技復帰、再発予防だけでなく、正しいフォームの指導を行います。

一理学療法士の活躍の場

山形県理学療法士会は山形県内に勤務する理学療法士の学術技術の研鑽と真摯の向上に努め、県民の保健の健康・医療・介護・福祉の発展に寄与することを目的として、学術活動及び社会活動を行っています。現在、1085名の会員が病院、診療所、介護保険関連施設、福祉施設、身体不自由児施設及び教育機関等に勤務しています。

● ● ● ● 広報部活動報告 ● ● ● ●

～「高校生の理学療法体験」自粛における 理学療法士を志す高校生への広報活動について～

広報部部長 柴田拓哉

例年7月17日の「理学療法の日」に、会員の皆様のご協力をいただき「高校生の理学療法体験」を行ってまいりました。会員の皆様の中にも高校生だった頃に参加した記憶のある方も多いのではないのでしょうか。また、理学療法士になり高校生に体験してもらう立場に立たれた方も多いのではないのでしょうか。「出会った理学療法士が素敵だった」、「体験した内容に興味関心を持った」など、この体験が理学療法士になることを後押ししたとしたら喜ばしいことです。近年は200名を超える高校生の参加をいただき、病院や施設等で理学療法を体験して理解を深める機会としてきました。

しかしながら、コロナ禍の状況を踏まえ昨年に続き本年も「高校生の理学療法体験」の開催を自粛することといたしました。昨今、理学療法士は種々のアンケート調査で高校生のなりた職業の上位に選ばれるようになり需要は高まっているところだったと思います。高校生が理学療法を知る貴重な機会を失うのは大変残念なところではあります。

そこで、本年の広報活動として「理学療法の日」に合わせ、県内各高等学校の進路指導担当者様に理学療法の広報誌である「理学療法士ガイド」をお送りし、加えて、理学療法士の情報やPR動画などを掲載している日本理学療法士協会、山形県理学療法士会のホームページを紙面で紹介させていただきました。これらが、理学療法士を志す高校生への進路指導の一助となれば幸いです。

最近、高校生の子を持つ職場の方や知人から理学療法士について尋ねられる機会が増えました。そんな時はこれまでの経験と新しい情報を通じて素敵な職業だと伝えるように心がけております。多くの人が集まる機会が持てない状況下ではおひとりおひとりの広報活動も大切であると感じております。会員の皆様におかれましては、広報活動に引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



1.『公益社団法人 日本理学療法士協会：理学療法士を知るツール』

PR動画や理学療法士マンガなど理学療法についての情報が満載です

https://www.japanpt.or.jp/about_pt/therapy/tools/



2.『一般社団法人 山形県理学療法士会：一般の方へ』

県内の理学療法士についての情報や当会の活動などの情報を掲載しています

<http://www.dream-pt-yamagata.jp/>



2020年度より新生涯学習制度が始まります！

これまでの新人教育プログラムは終了し、実地研修を含んだ前期・後期研修による卒後教育の義務化、登録理学療法士制度による5年ごとの継続教育制度など、新たな生涯学習制度が始まります。会員の皆様におかれましては、新制度への円滑な移行に向けて、協会ホームページ内のマイページのご確認を是非お願い致します。

入会年度や履修状況によって 新制度からの履修内容が変わる！

本内容は概要図です。詳細は必ずマイページをご覧ください。

2022年4月から
新生涯学習制度
開始！



入会年度はいつですか？

2012年度以前

2013～2020年度

2021年度

新プロ：未修了

新プロ：修了

新プロ：未修了

新プロ：修了

新プロ：未修了

今年度修了すると
新制度開始時には
登録理学療法士！

新制度開始時には
登録理学療法士！

まずはお早めに
新プロ修了を！
その後、現制度での
生涯学習ポイントの
取得を！

現制度での生涯学習
ポイント数によって、
新制度からの履修
内容が変わる！
現在の履修履歴を
要チェック！

今年度修了すると
新制度からの
履修コマ数が緩和！

日本物理学会

 日本育種家協会

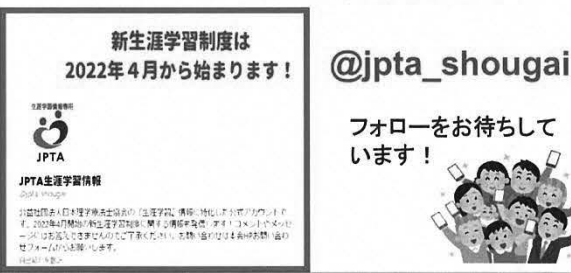


日本地学地法士協会

協会HP⇒協会について⇒生涯学習⇒動画一覧

日本法医学協会

日本理学療法士協会



事業カレンダー 2021年

事業名	開催日	担当部局
第2回生涯学習部研修会 (新人教育プログラム)	令和3年9月5日	生涯学習部
専門領域推進部 小児理学療法領域勉強会	令和3年9月16日	専門領域推進部
職能局座談会 『医療・介護分野それぞれの悩みや取り組みを共有しよう!』	令和3年9月25日	職能局 介護保険部 医療保険部
地域ケア会議推進リーダー導入研修会	令和3年9月26日	地域包括ケアシステム推進対策本部
第1回地区別カンファレンス(※)	9月末	置賜支部
地域ケア会議推進リーダーフォローアップ勉強会	令和3年10月24日	地域包括ケアシステム推進対策本部
地域ケア会議助言者実務研修会	令和3年10月24日	地域包括ケアシステム推進対策本部
協会主催研修会 「栄養・嚥下機能からみた予防理学療法」	令和3年10月31日	専門領域推進部
第2回置賜支部勉強会(※)	10月末	置賜支部
第3回生涯学習部研修会 (新人教育プログラム)	令和3年11月7日	生涯学習部
地域ケア会議助言者実務研修会	令和3年11月28日	地域包括ケアシステム推進対策本部
第2回地区別カンファレンス(※)	12月	置賜支部
第3回置賜支部勉強会(※)	2月	置賜支部

記載内容は、8月中旬現在で広報部に寄せられている情報です。かわら版の発刊日により、開催日を迎えているものもあります。また、(※)のある事業は開催日等の変更の可能性もあります。今後、事務局から配信されるニュースや当会ホームページの情報をご確認ください。

こちらに掲載されていない事業も含め、各部局で有益な情報を企画発信しております。会員の皆様の積極的な事業参加にご活用ください。



思いやりリハビリ・まごころケア
(有) 福祉用品やまがた
介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) **26-1725**
FAX (0234) **26-6780**



義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売

(有) エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

編集後記

かわら版25号をお読みいただきありがとうございます。

本号では、当会の新体制移行に伴って新任理事の記事を中心に掲載しております。

この度、永年にわたる功績が称えられ、高橋俊章先生が第38回日本理学療法士協会賞を受賞されました。誠にめでたうございます。

広報部も新体制となりましたが、引き続き会員の皆様に有益な情報を届けられるように活動していきたいと思っております。

現在、新人教育プログラムの講師の先生などのご協力をいただき、紙面上で学ぶ「かわら版講習会」を企画しています。連載開始の準備を進めておりますので次回も楽しみにお待ちください。

広報部 山形県立河北病院 石本 亮

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889



◆営業品目◆

義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュール)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短断端を含む)

・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士 安達 武雄
山形市江保3丁目15-1
☎(023) 681-0456

CS (有)安達ブレイス製作所

Your Healthy and Active Life With
YAMAGATA PROSTHESES INSTITUTE
あなたの健康で快適な人生のために、山形義肢研究所がでること

有限会社 山形義肢研究所

ACCESS 山形市飯田五丁目5番39号
TEL 023-632-5214 FAX 023-632-5215



オーリンク株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房 (有)

東置賜郡高畠町一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL : <http://www.kazenosato.co.jp/>

座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器など

オーダーメイドの福祉用具

LCS 株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社

岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代) 623-0546番
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代) 22-0106番

あなたの笑顔が見たいから 株式会社 蔵王サプライズ

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする

株式会社 シバタインテック

■山形支店 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
本社(仙台)・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター



株式会社大風印刷 〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘1-2-6 TEL.023-689-1111
●天童営業所・☎023-654-5715 ●東根営業所・☎0237-53-0117 ●仙台営業所・☎022-399-7861
●東京営業所・☎03-5829-6650 ●ガッタハウス・☎023-631-5579

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者/岩井 章洋

■編集者/丹野 則子 柴田 拓哉

■広報部/E-mail : ptkouhoubu@yahoo.co.jp